



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

令和2年12月25日

報道機関 各位

本学留学生と日本人学生の混住古民家
「地方創生☆政策アイデアコンテスト2020」地方創生担当大臣賞を受賞

◆本件のポイント！

- 本学留学生と日本人学生が住む古民家の活動が、最高賞である地方創生担当大臣賞を受賞
- 地域の方々との交流活動が評価された

◆本件の概要

このたび、本学留学生と日本人学生の混住古民家の地域交流活動が内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト」の最高賞となる“地方創生担当大臣賞”を受賞しました。

2017年から留学生と日本人学生が大学近くの古民家に住み、地域の方々との映画作成、クリケット教室開催、地域交流会などを積極的に行ってきました。これらの活動が地域における新たな多文化共生の一つのモデルとして、「地方創生☆政策アイデアコンテスト」で中国地方にて評価された後、今回の受賞に至りました。

〈受賞内容〉

プロジェクト名：「空き家が繋ぐ人と未来 空き家を利用した共生社会構築への挑戦」

申請代表者：橋本友太（本学大学院自然科学研究科2年）

参照：<https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>（コンテストHP）

〈古民家の概要〉

古民家「上手（わて）」（住所：松江市東持田町90-2）

現在バングラデシュの学生が1名、日本人学生が2名、教員1名が同居しています。

（これまで外国人【仏、米、インド等】9名、日本人学生6名が居住経験あり）

HP: <https://kominka-wate.localinfo.jp/>

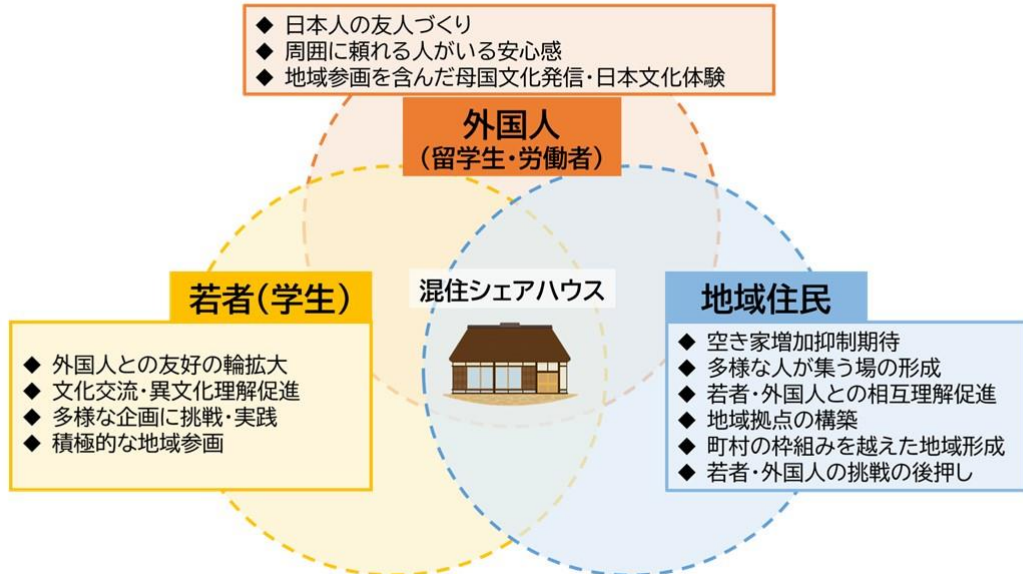
Facebook: <https://m.facebook.com/wade.kominka.5>

◆本件の連絡先

島根大学国際交流センター教授 青 晴海 TEL：0852-32-9756

【添付資料： あり（1枚） なし】

解決案 | コンセプト



住居の役割だけではなく、地域の多面的な役割を担っている

活動記録 | 混住シェアハウスを中心とした三者の交流



(左)2017年9月『古民家上手』設置。大広間は住人がイベントなどに応じ変装(中央2枚)約0.5aの耕作放棄地を利用し、収穫物は近所へのおすそ分けやイベント利用
(右)2018年から庭でピザ窯づくりに挑戦、来訪者や地域住民とともに作製



大広間を会場とし餅つき大会、多国籍料理教室、留学生のルーツを活かした語学教室、ボジョレー解禁イベントアニメ鑑賞会等多様なイベントを開催。国籍・世代を越えたつながりの構築や価値観をシェア

